第75号　発行日：令和3年3月1日

ネットコア通信

今後は避けて通れない！

「デジタル化」の波 ～身近な暮らし 編～

近頃、「ＤＸ」という言葉を耳にすることがありませんか？これは「デジタルトランスフォーメーション」（Digital transformation）の略で、日本語だと簡単に「デジタル化」と言い表すことができます。（ちなみになぜ「Ｄ『Ｘ』」かというと、英語圏では「trans-」という接頭辞を『Ｘ』で表す習慣があるからだそうです。）

「ＤＸ」とは、そういう名前の技術があるわけではなく、

●ＩＴ・ＩＣＴ…PC等での情報処理や、インターネットを活用した技術のこと

●ＩｏＴ…生活に関わる様々なモノがインターネットでつながること。例えば、外出先からスマートフォンを使って自宅のエアコンを操作することができる、など

などの技術を利用したサービスや仕組みを社会に浸透させ、生活や仕事をより便利に変革・移行していくことです。ごくごく簡単に言うと、「インターネットで暮らしや仕事をこれまでにないくらい便利にしよう！という動き」といった感じでしょうか。

昨年9月、菅内閣発足時に、国全体のデジタル化促進を目的としたデジタル庁の創設が宣言されたのは記憶に新しいところ。今年の9月に設置予定です。その最大の目的がまさに日本のスピード感あるＤＸです。さて、ＩＴ化というのはずっと昔から言われていることですが、なぜ今改めてＤＸなのか？ご紹介しようと思います。

日本は、先進諸国に比べてＩＴ化が遅れていると言われています。これだけ技術が発展しているのになぜ…と思う方も多いと思いますが、例えば買い物の場面を思い浮かべてみてください。皆さんは普段何で支払いをしていますか？おそらく、「現金」と答える方はかなり多いのではないでしょうか。キャッシュカードや「〇〇ペイ」と名のついた様々なキャッシュレス決済など、皆さん自身が使っていないケース、あるいは店側が対応していないケースもあると思います。

キャッシュレス先進国と言われるデンマークでは、「現金お断り」な店舗も増えているそうですが、その波は子供たちのお小遣いにまで及んでいます。8～14歳の子供が銀行口座を開設し、クレジットカードをもち、それを専用アプリで管理。お小遣いは親からのチャージで受け取る、なんて先進的な光景が広がっているそうです。そのお小遣いは、親の許可があれば残高の範囲内でカードで買い物することもできるし、貯金をすることもできます。親は、日、週、月ごとにいくらまで使えるか設定したり、子どもたちのやりくりの様子を見守ることができますが、基本的には子供が主体。お金の使い方、貯蓄ということなどを実践的に学ぶことに役立っているそうです。他にも、キャッシュレス社会になり国内での現金の流通が減ったことにより、紙幣や硬貨の生産（原料の紙・金属や偽造防止の技術など）、流通や管理（現金精算のための労働力など）に係るコストが不要になる、強盗事件等の犯罪が激減するなどの効果も出ているそうです。

代表取締役社長
篠﨑 みのり

ＩＴの分野でなぜ日本が後れを取ってしまっているのか、その原因の一つは、これまでに作られた日本のシステムが優れている、という側面もあるのでは？と思ったりもします。「ガラケー（ガラパゴスケータイ）」という、技術としては傑出しているが、世界的な標準とはズレていて日本国内でしか需要がない、という例もあります。お金の分野でいえば、治安が良い、現金の信頼性が高い、というのもあると思います。私が昔行った、キャッシュレス先進国の一つのとある国では、当時ニセ札が普通に流通していたため、高額紙幣で支払おうとするとまず確認のための機械を通すのが日常の風景でした。

だからと言って国際化が進んでいる今、様々な国の人たちが訪問先や投資先として、相変わらずアナログでＤＸに立ち遅れている不便な日本を果たして選んでくれるのかどうか（必ずしもアナログ＝悪ではありませんが）。今ＤＸが声高に言われているのにはこのような問題意識があるからなんですね。

今回は、「生活」の場面でのＤＸをご紹介しました。「デジタル化」なんて何となく遠い世界の話のような気がしてしまいますが、結構身近なところにもどんどん迫ってきていることを感じていただけたのではないでしょうか。

さて、次回は、「会社」の中でのＤＸについて、ご紹介させていただければ、と思います。

ホームページの作成

会社の情報を公開することは会社自体の信頼性にもつながります

　みなさんは普段、調べ物をするとき何で調べますか？
特に「企業」や「お店」を調べたいときほとんどの方が、
スマホやパソコンを使ってネット検索をされていると思います。
　もしも自分の「会社」や「お店」をネット検索されたとき
その情報が見つからなかったら、新規のお客様は
情報を得ることをあきらめ、別の会社やお店を
選んでしまうかもしれません。

ジャパンネット銀行などのネットバンク法人口座開設の際の審査では、ホームページの有無が判断材料になっているという話もあります。

あったほうがいいのは分かってはいるけど、予算がなぁ…

ご安心ください

　会社の基本情報や商品紹介だけを掲載するシンプルなホームページから、しっかりと作りこんだホームページまで、ご要望をじっくりお伺いして、ご予算に応じたホームページを作成いたします。アフターフォローもおまかせください。

ホームページ制作の流れ

打合せ場所	訪問	訪問	電話・メール	電話・メール	訪問
打合せ内容	申込み 目的 ご意向確認	原稿受取	デザイン確認	納品前確認	納品 ご請求

お客様作業の流れ

制作費・原稿準備 → デザインの確認・指示 → 内容修正点の確認・指示 → お支払い

相談だけでもＯＫ！お気軽にお問合せください。

カスタマーサービス課
地齋　輝昭

OBC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

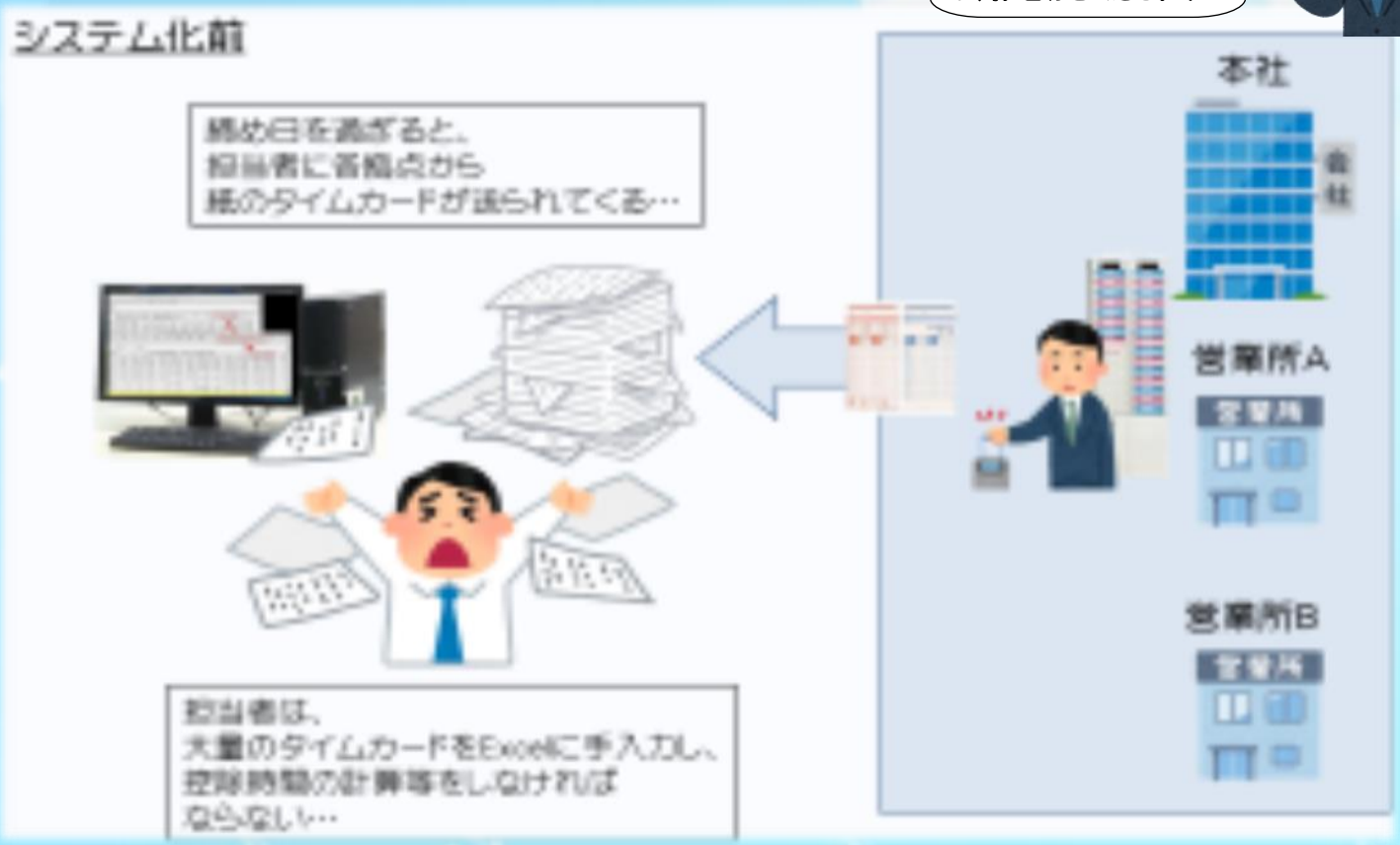
お客様の業務・予算にあった
最適なシステムをご提案いたします。

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

Net-Core でシステムのオーダーメイドしませんか？

勤怠管理システム の場合

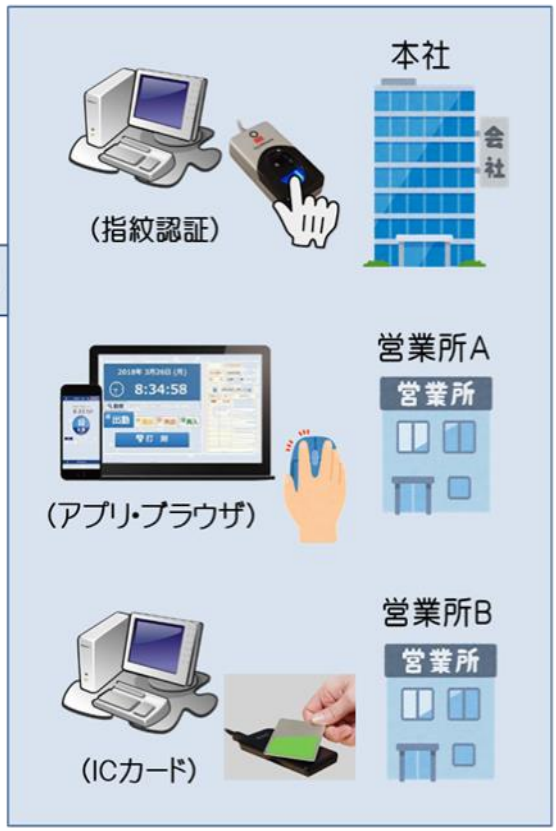
システム化前



システム化後

★各拠点で打刻をするとリアルタイムで
クラウドサーバーに登録・保存！

自動で登録！



★締め日後の作業軽減！

- 入・退時刻は自動でクラウドサーバーに保存されているので、手入力する手間なし！
- 休憩・控除時間などは自動で計算！
- 有休休暇取得日数なども管理可！

※打刻のツールは指紋認証、ICカード、ブラウザなど選択可能
（同拠点内での使い分けもOK！）

AI雑学 ～AI婚活～

しばらくお休みしていたAI雑学を不定期で更新します。
車の自動運転、医療や介護現場での予測、またオンラインショップでのレコメンド機能等、様々な分野でAI（人工知能）が活用されています。でも、まだまだ「身近」という感覚は持てない方も多いのではないでしょうか。
そこで今回はとても『人間臭い』分野、AI婚活をご紹介したいと思います！

AIに結婚相手を探してもらうと聞いてあなたはどう思いますか？
「面白い！」？
「AIなんかに結婚相手を決められたくない」？
もしかしたら「心を持たないAIに結婚相手を決められるなんてあり得ない！」と思う方もいるかもしれません。

「AI婚活」なんて聞くと、何だか得体のしれないすごいものをイメージしてしまいがちですが、実は

●こんな人とこんな人はうまくいった　or　いかなかったなどの膨大なデータを学習

●そのデータから傾向を読み取り、「こんな嗜好の人にはこんな人が合う（はず）！」とマッチングする

というツールにすぎません。

つまりAI婚活とは、ベテランの仲人並み（あるいはそれ以上）に蓄積された情報を基にマッチングを行い、高い精度の紹介を早く、安定して提供できる、「ちょっと合理的な仲人さん」なんですね。

このようにAIは、過去の膨大な情報を蓄積して分析し、選択肢を与えてくれる手段のひとつです。意外と、これまで思いもよらなかった、あなたの可能性を広げてくれる人を紹介してくれるかも！？
とはいえ、最終的に決めるのは自分自身。いくつもある選択肢の中のひとつとして、ちょっと気楽に使ってみるのもいいのではないでしょうか。

編　集　後　記

今回3ページ目、当社の勤怠管理のシステムについて編集していて、以前勤めていた会社では毎日細長い紙のタイムシートに印字していたことを思い出しました。江戸時代の黒や朱書きの勤怠帳、120年前のIBMや90年前の国産タイムレコーダー等と最終的には同じ集計作業をしているということですよね…。IT化された今の技術を再確認するとともに、データで簡単に出されるのに慣れた私には、今でも紙から集計している人の労力にほろりとしてしまうのでした。

発　行　株式会社ネットコア
編　集　吉田　裕子

住　所　栃木県宇都宮市鶴田2-5-24 クレインズ21 1F-A
（〒320-0857）
TEL　028-649-0111　FAX　028-649-0303
URL　http://www.netcore.co.jp/
E-mail　netcore@netcore.co.jp